

第7回茅野市総合計画審議会会議結果報告書

会議の名称	第7回茅野市総合計画審議会		
開催日時	平成29年11月28日(火) 18時30分～20時10分		
開催場所	茅野市役所 8階大ホール		
公開・非公開の別	公開	・非公開	傍聴者の数 0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
柳平市長	○議事		
	1 開会 2 市長挨拶 3 会長挨拶 4 協議事項 (1) 第5次茅野市総合計画基本構想(素案)について(資料1) 5 その他 ・第3回第5次茅野市総合計画策定全体ミーティング日程 12月7日(木) 午後6時30分 8階大ホール ・次回会議日程 第8回:12月22日(金) 午後6時30分 8階大ホール 6 閉会		
会長	○議事録		
	1 開会 2 市長挨拶 本日、基本構想の素案をお示しできる運びとなった。また各政策の基本計画である分野別基本計画も着々と策定が進んでいる。委員の皆様がそれぞれの分野で基本計画づくりにお力添えいただいている事に感謝申し上げたい。 5次総の特徴として、分野別の基本計画をそれぞれの政策の基本計画に入れていくつくりとなっている。全体の構想との整合を取り、意志疎通を図る大変さはあるが、無駄がなく茅野市らしい総合計画になると思っている。またそうしていかなければならない。それにより基本計画を進行管理することで5次総全体が常に見直せ、修正を加えられると期待している。新しい試みのため、まだまだ調整は必要と考えている。委員の皆様にはそんな視点も再度ご確認いただき、それぞれの立場で忌憚のないご意見をいただきたい。		
事務局	3 会長挨拶		
	本日は5次総の基本構想の素案についてご審議いただく。各分野における基本政策も徐々に固まりつつあり、皆さんからの様々な意見もまとまってきた。本日も慎重審議を、お願いしたい。		
事務局	4 協議事項		
	(1) 第5次茅野市総合計画基本構想(素案)について(資料1) ・・・・資料に基づき説明(第1章、第2章)・・・(29:08)		

委員	P3 全体イメージの分野別計画に「多文化共生・交流推進計画」とある。交流推進計画は国際交流推進計画とした方が、目的や内容が明確になるのではないか。
事務局	担当課にも確認の上調整する。
委員	どんぐりプランの会議で「教育大綱ありきのどんぐりプランなのか」という話が出た時、市側から「そうではない」との回答であったと記憶している。それであれば、この全体イメージの計画名称の並びは並列にするべきではないのか。
事務局	担当課へ確認し、位置づけの精査をしたい。 (1) 第5次茅野市総合計画基本構想(素案)について(資料1) ・・・資料に基づき説明(第3章)・・・
会長	第3章の各節ごとに意見・質問をいただきたい。 第1節。基本理念を茅野市民憲章としたことは既に委員の皆様には承認いただいているが、意見・質問はあるか。 (意見・質問なし) 第1節について、ご了解いただいた。
会長	第2節。将来像に込めた思いへの意見・質問はあるか。
委員	全体的に読みやすく整っていると思うが、「まちの営みを構成する様々な要素を組み合わせ、紡いでいくことが、暮らしやすく…」とあるが、言葉の流れとしてはとてもいいが「組み合わせ」と「紡いでいく」は同じような意味を持つ。将来像の『織りなす』という広がりのある言葉によって、紡いだものが織りなされると思い感心していたが、「紡ぐ」で終わっている。『様々な要素を紡ぎ、織りなしていくことが…』とした方が繋がっていくのではないか。
事務局	文言を検討する。
委員	財産、観光、安心安全といった同じ言葉が複数回使われており、ややくだいように感じた。
事務局	分かりやすくコンパクトな言い回しへ整理する。
会長	第2節について他に意見・質問はあるか。 (意見・質問なし) 第2節について、ご了解いただいた。 第3節。基本指針への意見・質問はあるか。
委員	第3項目の3行目に、「…、読書教育を中軸に…」とあるが語呂の都合上なのか、本当に読書教育を中軸としているのか。

	<p>公立大学となる諏訪東京理科大学が、第 2 項目にしか出てこないのは不自然である。</p>
事務局	<p>読書教育は今後も茅野市の教育の中軸として考えている。</p> <p>理科大の位置づけについては、これから理科大をどうやってまちづくりに活かしていけるかも含め、検討する。</p>
委員	<p>第 1 項目で、『老人』という言葉が使われているがビーナスプランでは使っていない。『高齢者』で統一した方がいいのではないか。</p>
事務局	<p>検討したい。</p>
会長	<p>第 3 節について他に意見・質問はあるか。 (意見・質問なし)</p> <p>第 3 節について、ご了解いただいた。</p>
委員	<p>第 4 節については 12 月 7 日の第 3 回全体ミーティングで協議の上、基本構想に盛り込まれる。</p>
委員	<p>政策横断プロジェクト、(4)の多文化共生はすでに在住している外国籍の方への取組である。それに対し、旅行業の活性化、学生の英語教育、理科大の国際的な活動がある。しかし多文化共生と情報だけとなると、これから交流すべき海外の人への窓口、学生のグローバル人材育成という部分が言葉として抜けてしまう。『多文化共生・国際化・情報化』としていただきたい。</p>
委員	<p>ICT 活用戦略でも現在検討会議を進めている。最終的にその中の基本理念や目標は決まっていないが、「グローバル化する世界への対応」というと多文化、異文化、国際交流といったところが主な目的になると思う。しかし、グローバル化のみに情報化が関係するわけではなく、市民生活に対して非常に大きく関わってくる。生活ギャップをバリアフリー化するという意味合いもあるため、グローバル化とは別として考えていただきたい。</p> <p>位置づけについては政策全体を横断するような概念が、情報化や ICT にはあると感じている。政策横断プロジェクトの 5 つ目の項目を ICT・情報化とすれば分かりやすい。</p> <p>例えば ICT という言葉を使うなら、『ICT による基本政策及び政策横断プロジェクトの補助・強化・推進』といったような表現が適切と考える。</p>
事務局	<p>多文化共生・国際交流と、ICT が支える暮らしといった項目立てを分け整理したい。現在の項目出しは「グローバル化する世界への対応」となっているが、2 項目に分けて整理したい。</p>
会長	<p>他に意見・質問はあるか。 (意見・質問なし)</p>
会長	<p>第 5 節。将来展望人口への意見・質問をいただきたい。</p> <p>最終年度 (2027 年度) の将来展望人口 54,200 人に対して意見はあるか。</p>

委員	<p>結局人口は減っており、何をどう増やす目標なのかが曖昧な印象がある。今より良くなる目標の方が分かりやすいのではないか。もっと増やそう、達成しようというのが現状の中の数字だけだと何が努力目標なのかが見えにくい。</p>
事務局	<p>参考の現状推計人口では、このまま推移した場合の人口であるが、将来展望人口は5次総を推進することによって上振れしたいというものである。最終年度にはおよそ1,000人の上振れをさせていくという目標設定である。目標ということで捉えると、例えば最終年度に1,000人増加の様に見える化した方がより分かりやすくなるかと感じている。見せ方については工夫したい。</p>
会長	<p>『施策で増やしていく』という意図が感じられるようにしてほしい。他に第5節、将来展望人口について意見・質問はあるか。 (意見・質問なし)</p>
会長	<p>第6節。土地利用構想は次回審議会で提示予定である。現在コンパクトシティ構想という国の指針を、どの市町村も尊重せざるを得ない流れをわかまえていただくと、より理解が深まるかと思う。</p>
会長	<p>第7節。まちづくりの在り方、進行管理について意見・質問はあるか。</p>
委員	<p>構想推進のために共助が重要とあるが、市民アンケート結果は、共助にあたる項目が毎年ワースト3に入っている。気概としての言葉上では問題ないが、地域役員のなり手がいない、助け合いの意識がないのが現状である。やはり現状の要因分析をする中で、なぜ共助の数値が低いのかきちんと裏付けを取り、P34の文言に繋げていく必要性を感じている。</p>
会長	<p>P10市民アンケート結果で、重要度の評価が高かった項目、低かった項目を挙げ現状としている。これが構想推進のためのお題目として適切か。事務局の考えはどうか。</p>
柿澤企画部長	<p>市民アンケートの重要度と満足度をどう見るか。財源をどこに重点的に配分するかを考えたときに、重要度は高いが満足度が低い部分への重点配分を検討しなければいけない。また、「自治を担うひとづくりの推進」「市民総参加によるパートナーシップのまちづくり」の満足度・重要度はともに低い。しかし重要度が低いからといってないがしろにするのではなく、住民自治の施策がどれだけ市民に伝わり、情報を共有し理解しているかも把握しなくてはいけない。アンケートの位置付けだけで判断するのではなく、市民に伝わっていないことで結果が出ない場合もある。やはり住民自治の評価が低いのなら市の姿勢も含め、しっかり対応していかななくてはいけない。</p>
委員	<p>4次総と照らし合わせてみると「構想推進のために」の表現が大きく変わっている。レイアウトは変わるのか。前回4次総のレイアウトは非常に見やすい。 『共助』という言葉が多用されており、『自助』の説明文が4次総と比べ簡素化しているが意図はあるのか。</p>

	<p>4次総では共助の説明文に『隣組、区・自治会、地区単位での…』と具体的に分かりやすい文言があったが、5次総でも具体的な文言を入れてはどうか。</p>
事務局	<p>現時点ではたたき台であり、これから体裁を整えて見やすくした後に最終案を示したい。</p> <p>これからは共助の取組をまちづくりの中心にしたいという思いから、敢えて『共助』を強調しているが、ご指摘をいただいた内容も含め、修正を加え次回審議会でお示ししたい。</p>
委員	<p>今までやってきた『パートナーシップのまちづくり』というものがあると思う。現在、パートナーシップは実際難しい局面にあり、行政と市民団体等により振り返りも行われている。今回重要視されている『共助』が地域コミュニティや市民活動の連携ということは、行政ではなく市民同士と読み取れる。公助に関しては誤解かもしれないが行政の仕事を下請けに出すというイメージがある。『パートナーシップ』は政策提言集団、NPO 法人、市民団体等が行政と対等に付き合うということだと理解しているが、この1つ目の項目の趣旨は、お互いが対等の立場ではなく、市民は市民でやり、行政は下請けへ仕事を下すという立場に変わったということなのか。</p>
事務局	<p>表現不足があったかもしれないが委員が受けた意味の表現をしたわけではない。分かりやすい表現に変えたいと思う。</p>
事務局	<p>本日欠席の委員からメールをいただいているので報告させていただく。</p> <p>ポイントとしては P37 図表の、総合計画事務局から総合計画審議会へ諮問をして答申をする（原則毎年）という部分である。</p>
委員（メール）	<p>資料では総合計画審議会が基本構想の進捗状況の審議を毎年行うとされている。しかし分野別計画の中で毎年振り返りと改善見直しの進行管理がきちんと行われていれば、それで進行管理は担保されていると考えられるので、あえて総合計画審議会です更に毎年審議する必要があるのか疑問である。分野別計画に携わった方々が行ってきた進行管理は尊重されるべきであり、行政の効率化を考えても不効率に感じる。基本構想は10年間揺るがないわけであり、分野別計画の進捗状況が基本政策や政策横断プロジェクトに沿って進行しているのは、実行している各分野に委ねるべきと思われる。5年後、第5次総合計画の中間見直しを行う計画ならば、その時点で新たに中間見直しの審議会を立ち上げ、各分野から前期5年間の振り返りを集積し、それを基に総合的な審議を行い後期に反映させるなど、毎年ではなく折を見て行う方が効率的と考える。</p>
事務局	<p>図表にもあるが、事務局としては分野別計画の進捗等に係る総合的な情報の集約は重要と考えている。また人口動向やまちづくりの基本指針に影響の大きい事業の進捗状況を踏まえ、基本構想自体の進捗の把握、また政策の重点化を行っていきたいと考えている。分野別の進捗について総合計画審議会です妥当か妥当ではないのかと審議をするのではなく、あくまでも総合的な情報の集約と基本構想の進捗管理に絞ってやっていく必要があるのではないか、という考えである。</p>

会長	分野別計画の進捗状況のチェックと、総合計画審議会でのチェックでは二度手間ではないかという意見であった。事務局としては大きな体系の中で総合的な情報の集約、計画全体としての構想の進捗の把握をしたいという事だった。原則毎年ということについて意見はあるか。
委員	これまで行われてきた市民プラン進行管理委員会においても、各分野の代表者が出ておらず、それぞれが見えにくく分かりにくかった。欠席委員からのメールでの意見と全く同感である。今後進行管理をしていくのはこの審議会か、新しく審議会を作るのか。
事務局	現在の審議会が行う。
委員	具体的にどんなことが、どんな形態で出てくるか聞きたい。結局分野別の人の意見を聞かなければ分からないことが結構あると思う。どのような資料で審議するか、現時点でのイメージ的なものがあれば教えてほしい。
会長	できるだけ事務局でスムーズに進行管理ができるような方法を考え、次回審議会で示してもらいたい。
事務局	進行管理の具体的なイメージが掴みづらかったかと思う。この総合計画審議会がどのような進行管理をしていくのか、具体的な資料出しをさせていただき、そこで議論を深めていただきたい。次回審議会で提示する。
柿澤企画部長	今までの市民プランは4層建てになっていた。大きな政策の下に施策があり、そのまた下に細施策があったが、今回は3層へと簡略化している。特に分野別の計画については一番頭のレベルに目標指標を置き、上位の部分で各分野が達成できるかどうか、その計画自体がうまくいくかが分かるようになってきている。全体を見ながら重点化を図ることを総合計画審議会でお願ひしたい。
会長	では審議会のメンバーは今と同じで年1回程度、行うということか。
事務局	総合計画審議会の任期は2年となっており、現在の委員さんの任期は平成31年2月までとなる。実際、5次総の基本構想は平成30年度から始まり、進行管理は31年度から始まる。現状では任期から外れるが、出来れば引き続き皆様に進行管理をお願いしたいと考えている。しかし2年という任期のため、入れ替わりはあると思っている。
会長	次回、概要を教えてください。 全体を通して意見・質問はあるか。
委員	土地利用構想は基本構想素案では空欄となっているが、都市計画マスタープランにおける考え方としては出来上がっていると思う。コンパクトシティという国を挙げて全体的にまちづくりを縮小していこうという構想があるが、都市基盤では、その方針のもとに玉川地区の圃場整備の補助事業が決まっているのか。明確な方針にそって土地利用やまちづくりを行うべ

	<p>きであり、何かそこに公共事業を持ってこようとした時に、それはどういう考え方なのか明らかにしている必要がある。</p> <p>将来展望人口は前回もそうだったが目標を〇〇しましょうとして、10年経ったら「やっぱり目標人数が足りなかったね」で終わる。税収にも関わる人口は一番の基本ではあるが、人口だけではなく出生率や健康な高齢者数を具体的に織り込めれば良いと思う。</p> <p>全体的に目指す将来像は、わかりやすいと思うが、言葉が相当にくどい。P24で『これから先、いまだかつて体験したことのない…』とあるが、これから先は誰も体験したことはない。敢えてここでこの言葉を入れなければいけないのか。『そして、そうした…』『…といった…』などきれいな言葉が並んでいるが、もっと整然とした方が逆に説得力があるのではないか。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局は次回までに検討を。</p> <p>以上で協議事項は終了となる。次回は修正案についてご協議いただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦第3回第5次茅野市総合計画策定全体ミーティング日程 12月7日(木) 午後6時30分 8階大ホールで行われる。 総合計画審議会からは正副会長の出席をお願いしている。 ◦第8回茅野市総合計画審議会日程 12月22日(金) 午後6時30分 8階大ホール 本日いただいた意見、資料の空欄部分を埋め、パブリックコメント前の最後の会議となる。そこで基本構想の素案をまとめていただきたい。
<p>副会長</p>	<p>6 閉会</p> <p>それでは第7回茅野市総合計画審議会を終了とします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>